

平成 27 年度第 3 回青森市子ども会議開催概要

- 1 日時 平成 27 年 6 月 13 日（土） 9 時 30 分～12 時
- 2 場所 青森市総合福祉センター2 階 集会室
- 3 出席者 平成 27 年度青森市子ども会議委員 14 名（欠席者 14 名）
平成 27 年度青森市子どもサポーター4 名（欠席者 2 名）
事務局 4 名
- 4 活動内容 ・子どもの権利に関する学習会
（講師 青森市子どもの権利擁護委員 沼田 徹 先生）
・活動テーマグループでの今年度の具体的な活動内容について
・ねぶた祭り参加時に着用する T シャツデザインについての話し合い

5 開催概要

第 3 回目の開催となる今回の会議では、子ども会議委員の皆さんが、これから子どもの権利の普及啓発を行うに当たって、子どもの権利への理解を深めてもらうために、子どもの権利に関する学習会を行いました。学習会の講師は、青森市子どもの権利擁護委員の沼田徹（ぬまたとおる）先生にお願いしました。

学習会の前半では、ゲームを通じた学習が行われました。まず、子ども会議委員を 2 つのグループに分けました。そして、コイントスをして、一方のグループには緑色の札、もう一方のグループには白色の札をつけてもらい、緑色グループ VS 白色グループで「あっち向いてホイ」をしてもらいました。当然、どちらのグループにも勝った人と負けた人がいましたが、沼田先生は勝ち負けに関係なく、「緑色だから」という理由だけで、緑色のグループにのみご褒美のお菓子を渡しました。このゲームを終えた委員の皆さんからは次のような意見が出されました。

子ども会議委員からの意見

- ・「あっち向いてホイ」で負けたのに、お菓子をもらっても嬉しくない。
- ・白色グループの人たちの人権が尊重されていない。不平等だ。
- ・お菓子をもらえて嬉しいけれど、白色グループの人たちの気持ちを考えると申し訳ない気持ちになる。
- ・白色グループという理由だけでお菓子をもらえないのは、差別だと思う。

沼田先生は、子ども会議委員の意見の一つ一つに対しコメントを交えつつ、子どもの権利に関する解説をしてくださいました。



後半のお話の中で、沼田先生が、「権利とは、何のようなものだと思いますか。」という質問を子どもたちに投げかけたところ、子どもたちからは、「友達」、「家」、「プロテクター」、「命」などという回答が返ってきました。沼田先生は、「権利とは、空気のようなもの」とおっしゃっていました。普段はそれを意識していないかもしれないけれど、なくなったり、汚れてしまったり（侵害されたり）すると、とたんに息苦しくなってしまうからということでした。子どもたちは沼田先生のお話になぜきながら、子どもの権利に関する知識を身につけようとしている様子でした。

そして最後には、白色グループの子どもたちにもお菓子をあげ、沼田先生による子どもの権利に関する学習会は終了しました。

続いて、「身の回りで興味のあること」について、今年度の具体的な活動内容の話し合いを行いました。子どもたちの活動に対して助言や補助をしていただくために、子どもサポーターの皆さんも各グループの話し合いに加わっていただきました。

まず、前回の会議で決定した、「文化」グループ、「環境」・「交流」グループ、「健康」・「食」グループ、「まちづくり」グループの4つのグループに分かれてもらい、次のようなグループ編成で活動をしていくことになりました。



- ①「文化」 ⇒グループ名：「TUBE」(5人)
- ②「環境」・「交流」⇒グループ名：「Misterioso(ミステリオソ)」(3人)
- ③「健康」・「食」 ⇒グループ名：「KKS」(7人)
- ④「まちづくり」 ⇒グループ名：「3代目マーチハンターズ」(11人)

※今回の会議欠席者を含む人数です。欠席者については、後日どのグループで活動したいか確認しました。

その後、具体的にどんなことについて、どのような活動を行いたいのか、夏休み期間中の活動日はいつにするかということについて話し合いました。話し合いでは、去年から継続して参加している子ども会議委員を中心に、今年から参加した子ども会議委員も積極的に意見を出していました。「身の回りで興味のあること」についての活動の話し合いは、次回の会議でも引き続き行う予定です。



休憩後、ねぶた祭りでの子どもの権利普及啓発活動時に着用するTシャツデザインについての話し合いを行いました。まず、前回の会議での話し合いを踏まえて、子ども会議委員が考えてくれたTシャツデザイン案を皆さんに見てもらいました。今年のTシャツは、黒地にピンク色で「けんりはかせ」のイラストが背面に描かれたデザインとなるようです。前回の会議で決まらなかった胸のロゴ部分や、背面にデザインされる「青森市子ども会議」の字体を何にするかについて話し合いました。

最後に、ねぶた祭りまでのTシャツ完成を約束し、今回の子ども会議は終了となりました。



【子ども会議委員から提出されたTシャツデザイン案】